

「第5回 家計と貯蓄に関する調査」 調査票

この調査は、『二人以上世帯』の「世帯主の方」、もしくは「家計や貯蓄を管理・把握していらっしゃる方」がお答えください。

※ この調査において「世帯」とは、同別居にかかわらず家計を同一にしていらっしゃる方すべてを含めてお考えください。

- この調査は家計や貯蓄について、日ごろお考えになられていることなどをお伺いするものです。
- 調査データはすべて数値に置き換え、個人情報とは切り離します。お答えいただいた結果は、「〇〇という回答が△△%」というように統計的にまとめて公表するとともに、家計の金融行動に関する今後の学術研究に役立てます。個人情報が出ることは一切ございませんので、ご安心ください。
- お答えは、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。「その他」にあてはまるときは選択肢の番号を○で囲み、()内に具体的な内容を記入してください。
- 金額など数値をお尋ねしている設問では、それぞれの単位に合わせて、その1つ下の位を四捨五入して回答ください。
例) 金額を「万円」の単位でお伺いしている場合：64,000円であれば千の位「4」を四捨五入して「6万円」と回答してください。
- 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけお尋ねする部分もありますが、その場合は指定された方法に従ってお答えください。
- ⑩=1、⑪～⑳などの数字はコンピュータで処理するためのマークですので、お気になさらずにお答えください。

【調査票の回収方法について】

ご記入いただいた調査票は、① 郵送による回収、② 調査員による回収のどちらかご都合の良い方法でご提出ください。調査にご協力いただいた方には、謝礼として1,000円分のQUOカードを贈呈いたします。

① 郵送による回収

ご記入済の調査票を同封の返送用封筒に入れて12月11日(日)までにご投函下さい。(※切手は不要です。) 期限までにご投函くださった方には、2023年1月中旬に謝礼を郵送にてお送りいたします。

② 調査員による回収

11月25日(金)～12月4日(日)の間に、一般社団法人 中央調査社の調査員が訪問しますので、同封の回収用封筒に入れて調査員にお渡しください。謝礼は調査員が調査票と引き換えにお渡しいたします。

【調査の企画】 一般財団法人 ゆうちよ財団 金融行動調査ワーキングチーム

〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町3-7-4
ホームページ <https://www.yu-cho-f.jp/>

神戸大学 社会システムイノベーションセンター特命教授
ホリオカ・チャールズ・ユウジ
文京学院大学 人間学部教授 寺島 拓幸
日本女子大学 人間社会学部教授 周 燕飛

【調査の実施】 一般社団法人 中央調査社

〒104-8179
東京都中央区銀座5-15-8
ホームページ <https://www.crs.or.jp/>



お問い合わせ: 0120-48-5351 (フリーダイヤル) / 03-3549-3125

(平日 9:00～17:00、担当: 管理部 萩原・平澤)

整理番号				

点検者

生活全般についてお伺いします。

問1 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1 満足している | 3 やや不満だ |
| 2 まあ満足している | 4 不満だ |

⑪

問2 あなたは、次の「ア」～「キ」の生活のそれぞれの面では、どの程度満足していますか。

(〇はそれぞれ1つずつ)

	満足 している	まあ 満足している	やや不満だ	不満だ
ア 所得・収入	1	2	3	4
イ 資産・貯蓄	1	2	3	4
ウ 自動車、電気製品、家具などの耐久消費財	1	2	3	4
エ 食生活	1	2	3	4
オ 住生活	1	2	3	4
カ 自己啓発・能力向上	1	2	3	4
キ レジャー・余暇生活	1	2	3	4

⑫～⑮

問3 あなたは、日頃の生活の中で、悩みや不安を感じていますか。悩みや不安を感じるのとはどのようなことについてですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 自分の健康 | 8 家族・親族間の人間関係 |
| 2 家族の健康 | 9 近隣・地域との関係 |
| 3 自分の生活上の問題(進学、就職、結婚など) | 10 勤務先での仕事や人間関係 |
| 4 家族の生活上の問題(進学、就職、結婚など) | 11 事業や家業の経営上の問題 |
| 5 現在の収入や資産 | 12 その他
(具体的に) |
| 6 今後の収入や資産 | 13 悩みや不安は感じていない |
| 7 老後の生活設計 | 14 わからない |

⑯⑰

【全員の方に】

問4 今後の生活において、「物の豊かさ」と「心の豊かさ」に関して、あなたの考え方に近いのはどちらですか。

(○は1つ)

- 1 物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をすることに重きをおきたい
- 2 まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに、重きをおきたい
- 3 どちらともいえない

⑳

問5 あなたは、今後の生活において、貯蓄や投資など将来に備えることに力を入れたいと思いますか。それとも毎日の生活を充実させて楽しむことに力を入れたいと思いますか。(○は1つ)

- 1 貯蓄や投資など将来に備える
- 2 毎日の生活を充実させて楽しむ
- 3 どちらともいえない

㉑

問6 物価の動向に関するお考えをお伺いします。

1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(○は1つ)

1 下がる

2 変わらない →次ページの間7へ

3 上がる



問6-1 下がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ)

- 1 2%未満
- 2 2%～5%未満
- 3 5%～10%未満
- 4 10%以上

㉒

問6-2 上がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ)

- 1 2%未満
- 2 2%～5%未満
- 3 5%～10%未満
- 4 10%以上

㉓

貯蓄についてお伺いします。

【全員の方に】

問7 あなたの世帯では、現在、世帯の貯蓄をどうなさっていますか。(〇は1つ)

※「貯蓄」には、住宅・土地・貴金属等は含みません。

- 1 貯蓄を増やしている 2 あまり貯蓄額は変わっていない 3 貯蓄を取り崩している

⑳

問8 あなたの世帯では、どのような種類の預貯金・金融商品(外貨建て金融商品を含む)によって貯蓄をおこなっていますか。

- (1) 「1」から「12」の預貯金・金融商品について、持っているものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも)
 (2) 【(1)で「持っている」と回答した預貯金・金融商品それぞれについて】回答可能な範囲でお答えいただければ結構です。そのおおよその現在高(保有額)をご記入ください。

※ゼロの場合は「0」と記入してください。

(実数記入)

㉑=2

	(1) 持っているもの (〇はいくつでも)	(2) 現在高(保有額) <2022年10月末現在>		記入上のご注意
		十 一 千 百 十 一 (位)	万円程度	
ゆうちょ銀行の貯金 <通常貯金>	1	→	万円程度	ゆうちょ銀行や郵便局への貯金の総額を「通常貯金」「定期貯金・定額貯金」に分けて、それぞれお答えください。
ゆうちょ銀行の貯金 <定期貯金・定額貯金>	2	→	万円程度	
預貯金 <普通預金>	3	→	万円程度	銀行、信用金庫・信用組合、農協などへの預貯金の額を「普通預金」「定期性預金・定期積立」に分けて、それぞれお答えください。 *外貨預金は含みません。
預貯金 <定期性預金・定期積立>	4	→	万円程度	
外貨建て金融商品 (外貨預金、外国債券、外国投資信託、FX等)	5	→	万円程度	記入時の為替相場場で円換算してお答えください。
生命保険 (定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含みません。)	6	→	万円程度	生命保険会社、郵便局、農協などの生命保険に今までに払い込んだ保険料の総額をお答えください。定期保険・医療保険などの掛け捨て型は除きます。
個人年金 (公的年金の保険料は含みません。)	7	→	万円程度	生命保険会社、郵便局、農協などの年金商品に今までに払い込んだ掛け金の総額をお答えください。公的年金の保険料は含みません。
債券 (国債、金融債、社債等)	8	→	万円程度	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
株式 (従業員持株制度による株式を含みます。)	9	→	万円程度	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
投資信託 (公社債投信、株式投信、MMF、REIT、ETF等)	10	→	万円程度	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
財形貯蓄、社内預金	11	→	万円程度	財形貯蓄・社内預金などの貯蓄額をお答えください。
その他 (貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座、iDeCo等)	12	→	万円程度	上記「1」～「11」以外の金融商品について、合算してお答えください。

㉒⑬

㉓~㉔

【全員の方に】

問9 あなたの世帯でお持ちの金融資産についてお伺いします。

(1) あなたの世帯でお持ちの金融資産をすべて合わせると、**現在高**はおいくらですか。現金や決済性預金を含めてお答えください。**(実数記入)**

※「金融資産」には、土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。
 ※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をお付けください。

⑩=3

< 2022年10月末現在 >

+	-		千	百	+	-		億		万	円

⑪~⑰

X 持っていない

(2) では、**1年前**のあなたの世帯でお持ちの金融資産額は、おいくらでしたか。現金や決済性預金を含めてお答えください。2021年10月末時点でお答えください。**(実数記入)**

※「金融資産」には、土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。
 ※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をお付けください。

< 2021年10月末時点 >

+	-		千	百	+	-		億		万	円

⑱~⑳

X 持っていない

問10 あなたの世帯の、現在までの**投資信託**の保有状況をお答えください。(○は1つ)

<p>1 現在保有している</p> <p>2 過去に保有していたが現在は保有していない</p> <p>3 一度も保有したことがない</p>	⑳
---	---

【問10で、「3 一度も保有したことがない」と回答した方に】

問10-1 今後、投資信託を利用してみたいと思いますか。(○は1つ)

<p>1 利用したい</p> <p>2 利用したくない</p>	<p>→ 次ページの問10-5へ</p>	㉑
---------------------------------	----------------------	---

→【問10で、「1」~「2」または 問10-1で「1」と回答した方(利用したことがある、または利用してみたい方)に】

問10-2 投資信託を利用した、または利用したいと考えるのは、どのような理由でしょうか。

主な理由を2つまでお答えください。(○は2つまで)

<p>1 お金を増やして豊かな生活を送りたい</p> <p>2 老後資金の準備</p> <p>3 子供や孫の教育資金</p> <p>4 生活費の穴埋め</p> <p>5 周りで投資信託の話をよく聞くようになったから</p> <p>6 中長期的に資産を増やしたいから</p> <p>7 その他(具体的に)</p>	㉒
--	---

→次ページの問10-3へお進みください

【引き続き、問10で、「1」～「2」または 問10-1で「1」と回答した方（利用したことがある、または利用してみたい方）に】

問10-3 投資信託を利用する際に、主にどのような方法で購入しましたか、またはしたいと思いませんか。

※ 購入したことがある方は、より利用頻度が高い方法をお選びください。 (〇は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1 主に、金融機関の窓口で購入した、または購入したい
2 主に、スマートフォンやパソコンなどでオンラインで購入した、または購入したい | ⑳ |
|---|---|

問10-4 投資信託の中で商品を選択する際の考え方として、次のうちどれが最もあなたの考えに近いですか。

(〇は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1 好みのものを自分で選びたい
2 専門家に投資方針を伝え投資判断等は専門家に一任したい
3 専門家ではなくロボアドバイザー（AI（人工知能））に任せたい | ㉑ |
|---|---|

→ 問11へお進みください

【問10-1で、「2（投資信託を）利用したくない」と回答した方に】

問10-5 投資信託を利用したくないのは、どのような理由でしょうか。主な理由を2つまでお答えください。

(〇は2つまで)

- | | |
|--|---|
| 1 預金のように元本保証がないから
2 投資に関する知識がないから
3 余裕資金がないから
4 コスト（手数料・信託報酬）が高そうだから
5 忙しくて時間がないから
6 損をしそうで怖いから
7 その他（具体的に _____）
8 特に理由はない | ㉒ |
|--|---|

【全員の方に】

問11 保険商品（掛け捨ての保険のみ）についてお伺いします。

(1) 現在、あなたの世帯の世帯主の方が被保険者となっていられる保険商品（掛け捨ての保険のみ）の死亡保障金額はおいくらくらいでしょうか。(実数記入)

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に〇をお付けください。

+	-		千	百	+	-		億		万	円

X 持っていない ㉓～㉔

(2) では、あなたの世帯のご家族全員の方の保険商品（掛け捨ての保険のみ）の死亡保障金額を合計すると、おいくらくらいでしょうか。(実数記入)

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に〇をお付けください。

+	-		千	百	+	-		億		万	円

X 持っていない ㉕～㉖

問12 あなたの世帯の貯蓄の目的等についてお尋ねします。

(1) 現在あなたの世帯では、どのような目的で貯蓄をなさっていますか。表の「ア」から「シ」の中から、貯蓄の目的にあてはまるものをいくつかもお答えください。(〇はいくつでも)

【(1)で〇を付けた貯蓄の目的それぞれについて】

(2) 現在お持ちの貯蓄総額の何%程度を割り当てていますか。合計が100%になるようにお答えください。(実数記入)

(3) 目的の貯蓄は1年前に比べて増えましたか、それとも減りましたか。(〇は1つつ)

	(1) 貯蓄の 目的 (〇は いくつでも)	(2) 貯蓄総額に 占める% (実数記入)	(3) 1年前に比べて (〇は1つつ)
ア 病気、災害、その他不時の出費への備え	1	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
イ 子どもの教育費	2	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
ウ 結婚資金(子どもの結婚資金を含む)	3	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
エ 自宅又は土地の取得、増改築などへの備え	4	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
オ 老後の生活への備え	5	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
カ 要介護状態(寝たきりなど)になったときの 出費への備え	6	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
キ 耐久消費財(自動車、家具、家電など)の 購入	7	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
ク 旅行やスポーツなどのレジャー	8	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
ケ 遺産(生前贈与を含む)として残すための 貯蓄	9	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
コ 特に目的はなく、安心のための貯蓄	10	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
サ その他の目的の貯蓄	11	→ <input type="text"/> %	→ 1 増えた 2 減った 3 変わらない
シ あてはまるものはない	12	→ 次ページの間13へ	

④5④6

④7④8~□□

□~□

➔ 問12(1)で「イ~オ(2~5)」の1つ以上に〇を付けた方は問12-1へ、それ以外の方は次ページの間13へお進みください。

問12-1 問12(1)の「イ~オ(2~5)」における目標金額(目安)の設定と貯蓄について、あなたの世帯に最もあてはまる状況をお答えください。(〇は1つつ)

<p>1 目標金額(目安)を定め、計画的に貯蓄</p> <p>2 目標金額(目安)は明確ではないが、定期的に貯蓄</p> <p>3 目標金額(目安)は明確でなく、余裕が出たときにその都度貯蓄</p>	<p>} 次ページの間13へ</p>	□
---	--------------------	---

次ページの間12-2へ

【問12-1で、「1 目標金額(目安)を定め、計画的に貯蓄」と回答した方に】

問12-2 目標金額(目安)は主にどのような方法で設定されていますか。最もあてはまるものをお答えください。

※ 複数の方法を用いて設定されている方は、最も役に立ったものをお答えください。(〇は1つ)

- 1 金融機関等の専門家からアドバイスを受けて設定
- 2 インターネットのシミュレーションを利用して設定
- 3 自分で情報収集等して設定
- 4 計画的に貯蓄するためひとまず一定額を目標に設定
- 5 その他(具体的な設定方法)

□

【全員の方に】

問13 あなたは、これまでに学校や企業等の中で金融教育を受けたことがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 小学校のころから道徳や家庭科の授業で受けた
- 2 中学校や高等学校の公民分野の授業で受けた
- 3 大学等で専門的に学習した
- 4 所属企業等で実施する資産形成・ライフプランの研修等を受けた
- 5 所属企業等で実施(補助)する通信講座・セミナー等を受けた
- 6 プライベートで資産形成・ライフプラン研修等や通信講座・セミナー等を受けた
- 7 その他(具体的に)
- 8 1～7のような金融教育を受けたことがない

□

問14 あなたは、ご自身の金融知識はどのレベルにあるとお考えですか。(〇は1つ)

- 1 平均よりもかなり詳しい
- 2 平均よりも少し詳しい
- 3 平均的である
- 4 平均よりも少し劣る
- 5 平均よりもかなり劣る
- 6 わからない

} 次ページの間15へ

□

【問14で、「3」～「6」と回答した方に】

問14-1 あなたは、金融知識をさらに身に着けたいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 とてもそう思う
- 2 ややそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 まったくそう思わない

□

住居についてお伺いします。

【全員の方に】

問15 あなたの世帯では現在どのような住居にお住まいですか。親または親族の家に同居しており、生計をともにしている場合には、その住居についてお答えください。(〇は1つ)

<p>1 持ち家(一戸建て)</p> <p>2 持ち家(借地権付き一戸建て住宅)</p> <p>3 持ち家(マンション)</p>	<p>4 民間の借家(一戸建て)</p> <p>5 民間の借家 (マンション、アパート等の集合住宅)</p> <p>6 住宅供給公社・UR都市機構 ・公営の賃貸住宅</p> <p>7 社宅・官舎</p> <p>8 その他(具体的に)</p>	<p>→11ページの 問17へ</p>	⑪
--	---	-------------------------	---

11ページの問16へ

【問15で、「1」～「3」(持ち家)と回答した方に】

問15-1 それはどなたの所有ですか。土地ではなく建物についてお答えください。(〇はいくつでも)

<p>1 世帯主</p> <p>2 配偶者</p>	<p>3 子ども</p> <p>4 子どもの配偶者</p> <p>5 孫</p> <p>6 親、配偶者の親</p> <p>7 その他(具体的に)</p>	<p>→ 11ページの 問16へ</p>	⑫
---------------------------	---	--------------------------	---

【問15-1で、「1」または「2」(世帯主または配偶者の所有)と回答した方に】

問15-2 それはどのようにして取得されましたか。(〇は1つ)

<p>1 購入した</p> <p>2 相続または譲渡を受けた</p>	<p>3 その他(具体的に)</p>	⑬
------------------------------------	---------------------	---

問15-3 それを購入・相続・譲渡された時期はいつでしたか。(実数記入)

※29ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

西暦

--	--	--	--

 年

⑭～⑰

→ 問15-2で「1 購入した」と回答した方は次ページの問15-4へ、それ以外の方は11ページの問16へお進みください。

い。

【問15-2で「1 購入した」と回答した方に。それ以外の方は問16へお進みください。】

問15-4 調達資金の内訳をお答えください。(実数記入)

※ ①～③のそれぞれについて、該当する資金がある場合は「ある」に○を付け、その金額を記入してください。
 該当する資金がない場合は「なし」に○を付け、金額欄に「0」と記入してください。

	(1) 調達資金の有無		(2) 該当する資金がある場合はその金額を記入してください																		
① 金融機関からの借入金	1 ある 2 なし	⇒	<table border="1"> <tr> <td>+</td><td>-</td> <td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>-</td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td colspan="2">億</td> <td colspan="4">万円</td> </tr> </table>	+	-	千	百	+	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	億		万円			
+	-	千	百	+	-																
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																
億		万円																			
② それ以外の借入金	1 ある 2 なし	⇒	<table border="1"> <tr> <td>+</td><td>-</td> <td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>-</td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td colspan="2">億</td> <td colspan="4">万円</td> </tr> </table>	+	-	千	百	+	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	億		万円			
+	-	千	百	+	-																
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																
億		万円																			
③ 親族からの援助	1 ある 2 なし	⇒	<table border="1"> <tr> <td>+</td><td>-</td> <td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>-</td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td><td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td colspan="2">億</td> <td colspan="4">万円</td> </tr> </table>	+	-	千	百	+	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	億		万円			
+	-	千	百	+	-																
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																
億		万円																			

(18～20) (21～38)

⇒ 問15-4で①「金融機関からの借入金」がある方は問15-5へ、それ以外の方は次ページの問16へお進みください。

【問15-4で、「1 金融機関からの借入金」があると回答した方に】

問15-5 次のうちどの金融機関から調達されましたか。(○はいくつでも)

1 民間金融機関	2 住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)	} →次ページの 問16へ	③
3 その他(具体的に)			

【問15-5で、「1 民間金融機関」と回答した方に】

問15-6 民間金融機関はどちらでしたか。複数の金融機関から借り入れている場合は、最も金額の多い機関をお答えください。※銀行の種別は、31ページの「銀行一覧」をご参照ください。(○は1つ)

1 都市銀行	6 信用金庫	□
2 地方銀行	7 信用組合	
3 第二地方銀行	8 労働金庫	
4 信託銀行	9 JAバンク(農協・漁協)	
5 ネット銀行	10 その他(具体的に)	

問15-7 民間金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 変動金利型	2 固定金利期間選択型(10年以下)	4 全期間固定金利型(10年以下)	④
	3 固定金利期間選択型(10年超)	5 全期間固定金利型(10年超)	
		6 その他(具体的に)	

次ページの問15-8へ

問15-8 民間金融機関から借入れたときの金利はおおよそどの位でしたか。(〇は1つ)

1	0.5%未満	5	2.0%~2.5%未満	9	4.0%~4.5%未満
2	0.5%~1.0%未満	6	2.5%~3.0%未満	10	4.5%~5.0%未満
3	1.0%~1.5%未満	7	3.0%~3.5%未満	11	5.0%以上
4	1.5%~2.0%未満	8	3.5%~4.0%未満	12	わからない

④②
④③

【問15で、「1」~「3」(持ち家)、または「8」(その他)と回答した方に】

問16 現在お住まいの住居について、3年後のその資産価値はどうなると思いますか。
マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(〇は1つ)

1 下がる	2 変わらない	→次ページの間18へ	3 上がる
-------	---------	------------	-------

④④

問16-1 下がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ)

1	5%未満
2	5%~10%未満
3	10%~20%未満
4	20%~30%未満
5	30%~50%未満
6	50%以上

④⑤

問16-2 上がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ)

1	5%未満
2	5%~10%未満
3	10%~20%未満
4	20%~30%未満
5	30%~50%未満
6	50%~100%未満
7	100%以上

④⑥

⇒ ここまで回答された方は、次ページの間18へお進みください。

【問15で、「4」~「7」(持ち家以外)と回答した方に】

問17 ひと月の家賃はどれくらいですか。共益費や管理費も含めてご回答ください。(実数記入)

百 十 一

--	--	--

万円

④⑦~□

⇒ 次ページの間18へお進みください。

資産についてお伺いします。

【全員の方に】

問18 住居の取得(建て替え、買い替えなどを含む)についてどのような予定をお持ちですか。(〇は1つ)

- | | | |
|---|-----------------------------|-----------|
| 1 | 1年以内に取得を予定 | } →問18-3へ |
| 2 | 5年以内に取得を予定 | |
| 3 | 時期ははっきりしないが取得を予定している | |
| 4 | 住居の取得・建て替え・買い替えは今のところ考えていない | |
| 5 | 将来とも住居を取得する予定はない | |

50

【問18で、「1」～「3」(住居を取得予定)と回答した方に】

問18-1 住居を取得(建て替え、買い替えなどを含む)する場合は、どのようにしたいですか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---|------|---|--------|
| 1 | 新規購入 | 3 | 買い替え |
| 2 | 建て替え | 4 | 相続・贈与等 |

【問18で、「1」～「3」(住居を取得予定)と回答した方に】

問18-2 予定されている調達資金の内訳をお答えください。(実数記入)

※①～③のそれぞれについて、該当する資金調達の予定がある場合は「ある」に〇を付け、予定金額を記入してください。該当する資金調達の予定がない場合は「なし」に〇を付け、金額欄に「0」と記入してください。

	(1) 予定されている 調達資金の有無	⇒	(2) 該当する予定の資金調達の予定金額を記入して ください												
① 金融機関からの借入金	1 ある 2 なし	⇒	<table border="1"> <tr> <td>+</td><td>-</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>-</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>億</td><td>□</td><td>□</td><td>万円</td> </tr> </table>	+	-	千	百	+	-	□	□	億	□	□	万円
+	-	千	百	+	-										
□	□	億	□	□	万円										
② それ以外の借入金	1 ある 2 なし	⇒	<table border="1"> <tr> <td>+</td><td>-</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>-</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>億</td><td>□</td><td>□</td><td>万円</td> </tr> </table>	+	-	千	百	+	-	□	□	億	□	□	万円
+	-	千	百	+	-										
□	□	億	□	□	万円										
③ 親族からの援助	1 ある 2 なし	⇒	<table border="1"> <tr> <td>+</td><td>-</td><td>千</td><td>百</td><td>+</td><td>-</td> </tr> <tr> <td>□</td><td>□</td><td>億</td><td>□</td><td>□</td><td>万円</td> </tr> </table>	+	-	千	百	+	-	□	□	億	□	□	万円
+	-	千	百	+	-										
□	□	億	□	□	万円										

□～□

□～□

⇒ ここまで回答された方は、次ページの問19へお進みください。

【問18で、「4」または「5」(住居取得は考えていない)と回答した方に】

問18-3 住居の取得(建て替え、買い替えなどを含む)をお考えになっていないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|-------------|---|----------------|
| 1 | 資金不足 | 4 | 現在の自宅に満足している |
| 2 | 適当な広さの物件がない | 5 | 将来どうなるか分からないから |
| 3 | 立地条件が合わない | 6 | その他(具体的に) |

□

⇒ 次ページの問19へお進みください。

【全員の方に】

問19 あなたの世帯の借入金についてお伺いします。

(1) 現在あなたの世帯では、次のような目的での借入金がありますか。あてはまるものをすべてお知らせください。
(〇はいくつでも)

【(1)で〇を付けた借入金目的のそれぞれについて】

- (2) それぞれの目的での、現在の借入残高をご記入ください。**(実数記入)**
 (3) 1年前に比べて残高が**増えた**のは、どの目的の借入金ですか。**(〇はいくつでも)**
 (4) 1年前に比べて残高が**減った**のは、どの目的の借入金ですか。**(〇はいくつでも)**

	(1) 借入の 目的 (〇は いくつ でも)	(2) 現在の借入残高 (実数記入)		(3) 1年前に比 べて残高が 増えたもの (〇は いくつでも)	(4) 1年前に比 べて残高が 減ったもの (〇は いくつでも)
		+	-		
ア 自宅又は土地の取得・ 増改築など	1	→	<input type="text"/> 億 <input type="text"/> 万円	1	1
イ 耐久消費財(自動車、 家具、家電など)の購入資金	2	→	<input type="text"/> 万円	2	2
ウ 子どもの教育費	3	→	<input type="text"/> 万円	3	3
エ 生活費	4	→	<input type="text"/> 万円	4	4
オ その他の目的の借入金	5	→	<input type="text"/> 万円	5	5
カ 借入金はない	6	→	借入金がない方は、次ページの間20へ		

⑪

⑫~⑬

⑭

⑮

仕事と家計についてお伺いします。

【 全員の方に 】

問20 **世帯主の方は**、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(○は1つ)

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px; margin-bottom: 5px;">1</div> している	2 していない (求職中)	3 していない (求職活動もしていない)	} → 16ページの問22へ
---	---------------	----------------------	----------------

【問20で「1」(世帯主の方は現在、収入をとまなう仕事をしている)と回答した方に】

問20-1 **世帯主の方**の現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。

※(2)業種は30ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

(1) 雇用形態 (○は1つ)	1 正社員・正規職員 2 嘱託・契約社員 3 派遣社員	4 パート・アルバイト 5 自営業(雇人あり) 6 自営業(雇人なし)	7 自営業の手伝い 8 内職 9 その他()
(2) 業種 (○は1つ)	1 農林漁業 2 建設業 3 製造業	4 運輸業、郵便業 5 卸売業、小売業 6 宿泊業、飲食サービス業	7 医療、福祉 8 公務、教育、電気水道業 9 その他サービス業
(3) 職種 (○は1つ)	1 専門・技術的職業 (医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) 2 管理的な仕事 (企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) 3 事務的な仕事 (企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) 4 営業・販売の仕事 (小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) 5 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) 6 運輸・通信の仕事 (トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) 7 保安的職業 (警察官、消防士、自衛官、警備員など) 8 農林漁業に関わる職業 9 サービスの職業 (理・美容師、料理人、ホールスタッフ、ホームヘルパーなど) 10 その他 (具体的に)		
(4) 従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (○は1つ)	1 5人未満 2 5人以上10人未満 3 10人以上30人未満	4 30人以上100人未満 5 100人以上300人未満 6 300人以上500人未満	7 500人以上1,000人未満 8 1,000人以上 9 官公庁 10 わからない ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。
(5) 就労時間	週平均 <input style="width: 80px;" type="text"/> 時間	うち 残業時間 <input style="width: 80px;" type="text"/> 時間	(実数記入)
(6) 入社時期	西暦 <input style="width: 80px;" type="text"/> 年 <input style="width: 80px;" type="text"/> 月		
※いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。(実数記入) ※自営業の場合には、事業を開始した時点を記入してください。 ※29ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。			

【問20で「1」(世帯主の方が現在、収入をとまなう仕事をしている)と回答した方に】

問20-2 世帯主の方は、何歳まで働きたいと考えていらっしゃいますか。(実数記入)

↓

	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -5px; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);">歳まで</div> </div>	□□
--	--	----

問20-3

(1) 新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前の通常月(2020年1-2月頃)と比較して、世帯主の方の、直近の1か月の就労収入に変化がありますか。

※2020年1-2月頃に非就業の場合は、「4 コロナ禍の前は非就業」に○をお付けください。

(2) 【(1)で「2」または「3」(増えた、または減った)と回答した方に】

変化がある場合、直近の月収は通常月の何%程度ですか。

※例えば、コロナ前の通常月の収入が20万円で直近の月収が25万円の場合は、25/20となるので、「125」%程度と記入してください。通常月の収入が20万円で直近の月収が15万円の場合は、15/20となるので、「75」%程度と記入してください。

(1) 世帯主の方の、 コロナ前の通常月に比べた月収の変化 (○は1つ)	(2) 増減の幅 (実数記入)
1 変わらない 2 増えた 3 減った 4 コロナ禍の前は非就業	直近の月収は、 コロナ前の通常月の <input style="width: 80px;" type="text"/> %程度
□	□~□

【問20-1(1)で、世帯主の方の雇用形態は「1」~「4」(被雇用)と回答した方に】

問21 新型コロナウイルス感染症に関連して、これまでに世帯主の方の雇用や働き方に関わる影響がありましたか。(○はい/□でも)

1 勤務日数や労働時間が減った 2 勤務日数や労働時間が増えた 3 在宅勤務・テレワークへの切替え 4 時差出勤への切替え 5 期間満了に伴う雇い止め	6 使用者からの解雇 7 自発的な退職 8 勤め先の休業・倒産に伴う失業 9 その他(具体的に) 10 影響があまりなかった
---	---

□

【全員の方に】

問2 2 世帯主の配偶者の方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(〇は1つ)

1	している	2	していない(求職中)	} 次ページの問2 4へ	<input type="checkbox"/>
		3	していない(求職活動もしていない)		
		4	配偶者はいない		

【問22で「1」(世帯主の配偶者の方は現在、収入をとまなう仕事をしています)と回答した方に】

問2 2-1 世帯主の配偶者の方の現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。

※(2)業種は30ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

(1) 雇用形態 (〇は1つ)	1 正社員・正規職員	4 パート・アルバイト	7 自営業の手伝い	<input type="checkbox"/>
	2 嘱託・契約社員	5 自営業(雇人あり)	8 内職	
	3 派遣社員	6 自営業(雇人なし)	9 その他()	
(2) 業種 (〇は1つ)	1 農林漁業	4 運輸業、郵便業	7 医療、福祉	<input type="checkbox"/>
	2 建設業	5 卸売業、小売業	8 公務、教育、電気水道業	
	3 製造業	6 宿泊業、飲食サービス業	9 その他サービス業	
(3) 職種 (〇は1つ)	1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) 5 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) 8 農林漁業に関わる職業 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ホールスタッフ、ホームヘルパーなど) 10 その他(具体的に)			<input type="checkbox"/>
(4) 従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ)	1 5人未満	4 30人以上100人未満	7 500人以上1,000人未満	<input type="checkbox"/>
	2 5人以上10人未満	5 100人以上300人未満	8 1,000人以上	
	3 10人以上30人未満	6 300人以上500人未満	9 官公庁	
	10 わからない			
※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。				
(5) 就労時間	週平均	<input style="width: 80px;" type="text"/>	時間	うち 残業時間
				<input style="width: 80px;" type="text"/>
			時間	(実数記入)
(6) 入社時期	西暦	<input style="width: 80px;" type="text"/>	年	<input style="width: 80px;" type="text"/>
			月	
	※いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。(実数記入) ※自営業の場合には、事業を開始した時点を記入してください。 ※29ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。			

問2 2-2 世帯主の配偶者の方は、何歳まで働き続けたいと考えていらっしゃいますか。(実数記入)

<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	歳まで	<input type="checkbox"/>
---	-----	--------------------------

問22-3

(1) 新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前の通常月（2020年1-2月頃）と比較して、世帯主の配偶者の方の、直近の1か月の就労収入に変化がありますか。

※2020年1-2月頃に非就業の場合は、「4 コロナ禍の前は非就業」に○をお付けください。

(2) 【(1)で「2」または「3」(増えた、または減った)と回答した方に】

変化がある場合、直近の月収は通常月の何%程度ですか。

※例えば、コロナ前の通常月の収入が20万円で直近の月収が25万円の場合は、25/20となるので、「125」%程度と記入してください。通常月の収入が20万円で直近の月収が15万円の場合は、15/20となるので、「75」%程度と記入してください。

(1) 世帯主の配偶者の方の、 コロナ前の通常月に比べた月収の変化 (○は1つ)		(2) 増減の幅 (実数記入)
1 変わらない	2 増えた	直近の月収は、 コロナ前の通常月の <input type="text"/> %程度
4 コロナ禍の前は非就業	3 減った	

~

【問22-1(1)で、世帯主の配偶者の方の雇用形態は「1」~「4」(被雇用)と回答した方に】

問23 新型コロナウイルス感染症に関連して、これまでに世帯主の配偶者の方の雇用や働き方に関わる影響がありましたか。(○はいくつでも)

1 勤務日数や労働時間が減った	6 使用者からの解雇
2 勤務日数や労働時間が増えた	7 自発的な退職
3 在宅勤務・テレワークへの切替え	8 勤め先の休業・倒産に伴う失業
4 時差出勤への切替え	9 その他(具体的に)
5 期間満了に伴う雇い止め	10 影響があまりなかった

⑩-6

【全員の方に】

問24 あなたの世帯の昨年1年間の就労収入について、お伺いします。

(1) 世帯主の方の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。

税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。また、自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。(実数記入)

※収入がない場合には「X 昨年1年間は、就労収入はない」に○をお付けください。

世帯主 税込

千	百	十	一

 万円程度

⑪~⑮

X 昨年1年間は、就労収入はない

(2) では、世帯主の配偶者の方の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。

税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。また、自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。(実数記入)

※収入がない場合には「X 昨年1年間は、就労収入はない」に○をお付けください。

※配偶者がいらっしゃらない場合には、「Y 配偶者はいない」に○をお付けください。

世帯主の
配偶者 税込

千	百	十	一

 万円程度

⑯~⑳

X 昨年1年間は、就労収入はない

Y 配偶者はいない

問25 あなたの世帯の、昨年1年間の収入の総額は、およそいくらですか。

(1) 税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、私的年金（企業年金、個人年金）、贈与、財産収入等を含む総収入（遺産を除く）と、

(2) 税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額でお答えください。（実数記入）

※収入がなかった場合は「0」と記入してください。

(1) 総収入 億

千	百	十	一

 万円程度 ⑲～⑳

(2) 手取り額 億

千	百	十	一

 万円程度 ㉑～㉓

問26 あなたの世帯の支出の状況についてお伺いします。

(1) あなたの世帯の、昨年のひと月あたりの支出は、平均してどのくらいですか。（実数記入）

ひと月あたり 約

百	十	一

 万円 ※支出には次のものを含みます。 ㉔～㉖

食費、光熱費、住宅ローンの返済・住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

(2) 上記(1)でお答えになったひと月あたりの支出金額のうち、住宅などのローンの返済額はどのくらいですか。

※ローン返済がない場合は「X ローン返済はない」に○を付けてください。（実数記入）

ひと月あたり 約

百	十	一

 万円 X ローン返済はない ㉗～㉙

問27 子どもや親との仕送りのやりとりについて、お伺いします。

(1) あなたの世帯では、子どもや親と仕送りのやりとりをしていますか。1から5のうち、あてはまるものをすべてお知らせください。（○はいくつでも）

(2) 「仕送りがある」場合、月々の仕送り金額は、それぞれいくらですか。（実数記入）

	(1) ある (○はいくつでも) ↓		(2) 月々の仕送り金額 百 十 一						
世帯主のお子様に仕送りをしている	1	→	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">百</td><td style="width: 20px; text-align: center;">十</td><td style="width: 20px; text-align: center;">一</td></tr><tr><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td></tr></table> 万円	百	十	一			
百	十	一							
世帯主のお子様から仕送りを受けている	2	→	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">百</td><td style="width: 20px; text-align: center;">十</td><td style="width: 20px; text-align: center;">一</td></tr><tr><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td></tr></table> 万円	百	十	一			
百	十	一							
世帯主の親御様に仕送りをしている	3	→	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">百</td><td style="width: 20px; text-align: center;">十</td><td style="width: 20px; text-align: center;">一</td></tr><tr><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td></tr></table> 万円	百	十	一			
百	十	一							
世帯主の親御様から仕送りを受けている	4	→	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">百</td><td style="width: 20px; text-align: center;">十</td><td style="width: 20px; text-align: center;">一</td></tr><tr><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td><td style="height: 20px;"></td></tr></table> 万円	百	十	一			
百	十	一							
上記のいずれもあてはまらない	5								

⑳

㉑～㉓

問28 あなたの世帯の家計について、お伺いします。

(1) あなたの世帯では現在の家計支出をどのような収入でまかなっていますか。(〇はいくつでも)

※支出には次のものを含みます：食費、光熱費、住宅ローンの返済・住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

1 給与収入	9 国や市町村等の公的機関からの援助 (失業給付、児童扶養手当、住居確保給付金等)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
2 事業収入	10 貯蓄の取り崩し	
3 不動産賃貸収入	11 退職一時金	
4 利子・配当等での収入	12 満期保険金	
5 公的年金・恩給	13 土地・家屋などの不動産売却収入	
6 個人年金・企業年金	14 リバースモーゲージ *注	
7 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	15 その他(具体的に)	
8 生活保護費		

*注 リバースモーゲージとは、持ち家を担保として自治体や信託銀行等から融資を受け、融資額満了時(契約者の死亡時等)に持ち家を売却することにより融資額を一括返済するシステムを指します。

(2) 前問28(1)でお答えになった収入のうち、最も金額が大きい収入は何ですか。番号を1つだけ選んで、ご記入ください。

最も金額が大きいのは 番 □□

問29 あなたの世帯の年間収入について、1年後の年間収入は現在の年間収入に比べてどうなると思いますか。

(〇は1つ)

1 下がる	2 変わらない →次ページ問30へ	3 上がる	□																										
↓		↓																											
問29-1 下がる幅は、おおよそどのくらいとお考えですか。(〇は1つ)		問29-2 上がる幅は、おおよそどのくらいとお考えですか。(〇は1つ)																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>5%未満</td></tr> <tr><td>2</td><td>5%～10%未満</td></tr> <tr><td>3</td><td>10%～20%未満</td></tr> <tr><td>4</td><td>20%～30%未満</td></tr> <tr><td>5</td><td>30%～50%未満</td></tr> <tr><td>6</td><td>50%以上</td></tr> </table>	1	5%未満	2	5%～10%未満	3	10%～20%未満	4	20%～30%未満	5	30%～50%未満	6	50%以上	□	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>5%未満</td></tr> <tr><td>2</td><td>5%～10%未満</td></tr> <tr><td>3</td><td>10%～20%未満</td></tr> <tr><td>4</td><td>20%～30%未満</td></tr> <tr><td>5</td><td>30%～50%未満</td></tr> <tr><td>6</td><td>50%～100%未満</td></tr> <tr><td>7</td><td>100%以上</td></tr> </table>	1	5%未満	2	5%～10%未満	3	10%～20%未満	4	20%～30%未満	5	30%～50%未満	6	50%～100%未満	7	100%以上	□
1	5%未満																												
2	5%～10%未満																												
3	10%～20%未満																												
4	20%～30%未満																												
5	30%～50%未満																												
6	50%以上																												
1	5%未満																												
2	5%～10%未満																												
3	10%～20%未満																												
4	20%～30%未満																												
5	30%～50%未満																												
6	50%～100%未満																												
7	100%以上																												

年金についてお伺いします。

【全員の方に】

問30 65歳以上の高齢期に、あなたの世帯では、1か月にどのくらいの支出があるとお考えになりますか。高齢期にもっとも可能性の高い家族形態を想定してお答えください（例えば、子どもと生計をともにする可能性が高い場合、二世帯世帯の生活を想定）。

※65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。（実数記入）

支出月額 約

百	+	-

万円

※支出には次のものを含まず。

食費、光熱費、住宅ローン返済・住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

□~□

問31 65歳以上の高齢期の家計の支出について、お伺いします。

(1) あなたの世帯では、65歳以上の高齢期の家計支出を何によってまかなおうとお考えですか。

※65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1 給与収入 | 8 国や市町村等の公的機関からの援助（生活保護費等） |
| 2 事業収入 | 9 貯蓄の取り崩し |
| 3 不動産賃貸収入 | 10 退職一時金 |
| 4 利子・配当等での収入 | 11 満期保険金 |
| 5 公的年金・恩給 | 12 土地・家屋などの不動産売却収入 |
| 6 個人年金・企業年金 | 13 リバースモーゲージ *注 |
| 7 子ども、親戚などからの援助（仕送り） | 14 二世帯世帯で同居する子供の収入 |
| | 15 その他（具体的に |

□

□

*注 リバースモーゲージとは、持ち家を担保として自治体や信託銀行等から融資を受け、融資額満了時（契約者の死亡時等）に持ち家を売却することにより融資額を一括返済するシステムを指します。

(2) 前問31(1)でお答えになった収入のうち、最も金額が大きくなるとお考えの収入は何ですか。番号を1つだけ選んで、ご記入ください。

最も金額が大きくなるお考えの番号は 番

□□

問32 あなたの世帯では、世帯主の方は現在公的年金の給付がありますか。（〇は1つ）

- | | |
|--|---|
| 1 <input type="checkbox"/> すでに受け取っている | 3 <input type="checkbox"/> 公的年金を受け取る資格がない |
| 2 <input type="checkbox"/> 今は受け取っていないが、将来は受け取る予定 | ↳ 次ページの問33 |

□

【問32で「1」または「2」(受け取っている、または受け取る予定)と回答した方に】

問32-1 世帯主の方が加入または受給または受け取る予定の公的年金は何ですか。複数該当する場合は、金額が多いものをお答えください。（〇は1つ）

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1 <input type="checkbox"/> 厚生年金（民間サラリーマンの年金） | 3 <input type="checkbox"/> 国民年金 |
| 2 <input type="checkbox"/> 共済組合の年金（公務員やこれに準ずる者の年金） | |

□

問3 2-2 世帯主の方の公的年金受給開始年齢は、何歳ですか。まだ受け取っていない場合は、受給開始予定年齢をご記入ください。(実数記入)

受給開始(予定)年齢

--	--

歳

□□

【全員の方に】

問3 3 では、世帯主の配偶者の方は現在公的年金の給付がありますか。(○は1つ)

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">1 <input type="checkbox"/> すでに受け取っている</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">3 <input type="checkbox"/> 公的年金を受け取る資格がない</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2 <input type="checkbox"/> 今は受け取っていないが、将来は受け取る予定</td> <td style="padding: 2px;">4 <input type="checkbox"/> 配偶者はいない</td> </tr> </table>	1 <input type="checkbox"/> すでに受け取っている	3 <input type="checkbox"/> 公的年金を受け取る資格がない	2 <input type="checkbox"/> 今は受け取っていないが、将来は受け取る予定	4 <input type="checkbox"/> 配偶者はいない	} 問3 4へ <input type="checkbox"/>
1 <input type="checkbox"/> すでに受け取っている	3 <input type="checkbox"/> 公的年金を受け取る資格がない				
2 <input type="checkbox"/> 今は受け取っていないが、将来は受け取る予定	4 <input type="checkbox"/> 配偶者はいない				

【問33で「1」または「2」(受け取っている、または受け取る予定)と回答した方に】

問3 3-1 世帯主の配偶者の方が加入または受給または受け取る予定の公的年金は何ですか。複数該当する場合は、金額が多いものをお答えください。(○は1つ)

1 <input type="checkbox"/> 厚生年金(民間サラリーマンの年金)	3 <input type="checkbox"/> 国民年金
2 <input type="checkbox"/> 共済組合の年金(公務員やこれに準ずる者の年金)	

問3 3-2 世帯主の配偶者の方の公的年金受給開始年齢は、何歳ですか。まだ受け取っていない場合、受給開始予定年齢をご記入ください。(実数記入)

受給開始(予定)年齢

--	--

歳

□□

【全員の方に】

問3 4 あなたの世帯では、公的年金で、65歳以上の高齢期の支出を何割程度まかなえるとお考えでしょうか。全部まかなえると思う方は「100」%とお答えください。また、公的年金が高齢期の支出を上回るとお考えの場合には「100」以上の数字をご記入ください。

65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。(実数記入)

(例：1か月の公的年金額が24万円で現役引退後の支出が20万円の場合は、24/20となるので、「120」%程度とご記入ください。)

※支出には次のものを含まず。

食費、光熱費、住宅ローン返済・住居費(住宅購入費や住宅改修費を除く)、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

公的年金で現役引退後の支出の

--	--	--

%程度をまかなえると思う。

□~□

問3 5 あなたの世帯では、公的年金受給前に、どのくらい貯蓄額が必要だとお考えですか。すでに公的年金を受給している場合は、公的年金の受給開始時の貯蓄額をお答えください。(実数記入)

必要な貯蓄額は

—		千		百		十		—
	億							

万円程度

□~□

遺産についてお伺いします。

【全員の方に】

問36 主たる家計の管理者が加齢や病気等により管理(現金の引き出しや振り込み等)することが困難になった場合、どなたが代わりの主たる管理者になりますか。(〇は1つ)

- 1 配偶者
- 2 兄弟姉妹
- 3 子供
- 4 友人
- 5 その他(具体的に)

□

問37 前問36の事態に備え、金融機関が受け皿となり、最も信頼できる家族や親族に財産の管理を任せる仕組み(いわゆる「民事信託」や「家族信託」)があれば利用したいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 既に利用している
- 2 利用してみたい
- 3 利用したくない

□

問38 あなたの世帯では、子どもに残す遺産(生前贈与を含む)に関してどのようにお考えですか。子どもがいらっしゃらない場合は、いらっしゃると仮定してお答えください。(〇は1つ)

- 1 遺産(生前贈与を含む)は、いかなる場合においても残したい
- 2 遺産(生前贈与を含む)は、子どもが世話、介護、経済的援助などしてくれた場合に限って残したい
- 3 遺産(生前贈与を含む)は、子どもが事業を継いでくれた場合に限って残したい
- 4 遺産(生前贈与を含む)は、子どもがお金に困っている場合に限って残したい
- 5 遺産(生前贈与を含む)を積極的に残すつもりはないが、余った場合には残したい
- 6 その他の理由で残したい(具体的に)
- 7 遺産(生前贈与を含む)を残したら、子どもの働く意欲を弱めるから、残すつもりはない
- 8 自分の財産は自分で使いたいから、遺産(生前贈与を含む)を残すつもりはない
- 9 遺産(生前贈与を含む)は残したいが、余裕がないから残せない
- 10 その他の理由で残さない(具体的に)

□

→ 次ページの間39へ

【問38で「1」～「6」(遺産を残したい)と回答した方に】

問38-1 あなたの世帯では、どのような資産を子どもに残したいとお考えですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 相続・贈与を受けた住宅・土地 | 4 みずから蓄積した貯蓄等の金融資産 |
| 2 みずから取得した住宅・土地 | 5 相続・贈与を受けたその他の資産 |
| 3 相続・贈与を受けた貯蓄等の金融資産 | 6 みずから取得したその他の資産 |
| | 7 その他(具体的に) |

□

問38-2 あなたの世帯で資産(生前贈与を含む)を子どもに残される場合、金融資産・住宅・土地その他の資産を含めた金額はどのくらいの金額になるかは見当がついていますか。(〇は1つ)

1 ある程度見当がついている ⇒ 見込額	+ - <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 億	千 百 + - <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 万円	<input type="checkbox"/>
2 見当がついていない	<input type="checkbox"/> ~ <input type="checkbox"/>		

問38-3 遺産(生前贈与を含む)を子どもに残す場合、その分け方に対する考え方を教えてください。(〇はいくつでも)

1 子ども間で均等に分ける 2 世話、介護などをしてくれた子どもに、多く(もしくは全部)残す 3 経済的援助をしてくれた子どもに、多く(もしくは全部)残す 4 家業などを継いでくれた子どもに、多く(もしくは全部)残す 5 何の交換条件がなくとも、長男・長女に、多く(もしくは全部)残す 6 よりお金に困っている子どもに、多く(もしくは全部)残す 7 愛着がより強い子どもに、多く(もしくは全部)残す 8 子どもが一人なので、その子に全部残す 9 その他(具体的に _____)	<input type="checkbox"/>
---	--------------------------

⑩=7

【全員の方に】

問39 あなたの世帯では、世帯主の親からの遺産相続を受けたことがありますか。(〇は1つ)

1 相続を受けたことがある	2 相続を受けたことはない → 次ページの間40へ	<input type="checkbox"/> ⑪
---------------	---------------------------	----------------------------

【問39で「1」(相続を受けたことがある)と回答した方に】

問39-1 世帯主の親からの遺産相続を受けたのは今から何年前のことですか。(実数記入)
 ※複数回受けたことがある場合は、一番最近受けたときのことをお答えください。

相続を受けたのは 年前 ⑫⑬

問39-2 世帯主の親から相続した資産についてお伺いします。

(1) 世帯主の親から相続した遺産はどのような種類の資産ですか。1~5のうち、あてはまるものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも)

1 居住用の不動産(一戸建て) 2 居住用の不動産(マンション) 3 その他の不動産 4 金融資産 5 その他(具体的に _____)	<input type="checkbox"/> ⑭
--	----------------------------

(2) 世帯主の親から相続したものについて、相続時の合計価額はおよそいくらですか。(実数記入)
 ※複数回受けたことがある場合は、受けたことのあるものをすべて含めてお答えください。

億

 万円くらい ⑮~⑳

問39-3 世帯主の親から受けた遺産は、世帯主の方のほかに、どなたが受け取りましたか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---|--------------------|----------|
| 1 | 親の配偶者が受け取った | →問40へ |
| 2 | 世帯主の兄弟・姉妹が受け取った | } → 問40へ |
| 3 | 他の親族が受け取った | |
| 4 | 寄付した | |
| 5 | その他(具体的に) | |
| 6 | 世帯主の方以外に受け取った人はいない | |

【問39-3で「2」(世帯主の兄弟・姉妹が受け取った)と回答した方に】

問39-4 その遺産はどのように分けられましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1 | 兄弟・姉妹の間で、ほぼ均等に分けられた |
| 2 | 兄弟・姉妹の間で、世話、介護などをした子どもに多く(もしくは全部)残された |
| 3 | 兄弟・姉妹の間で、経済的援助をした子どもに多く(もしくは全部)残された |
| 4 | 兄弟・姉妹の間で、家業などを継いだ子どもに多く(もしくは全部)残された |
| 5 | 兄弟・姉妹の間で、何の交換条件もなかったのに、長男・長女に多く(もしくは全部)残された |
| 6 | 兄弟・姉妹の間で、よりお金に困っている子どもに、多く(もしくは全部)残された |
| 7 | 兄弟・姉妹の間で、愛着がより強い子どもに、多く(もしくは全部)残された |
| 8 | 子どもが1人なのでその子どもがすべてを相続した |
| 9 | その他(具体的に) |

【全員の方に】

問40 あなたの世帯では将来、世帯主の親、または配偶者の親から、不動産や金融資産などを遺産または生前贈与としてもらえると思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---|------------------------|--------------|
| 1 | もらえると思う(または、すでにもらっている) | } →次ページの F1へ |
| 2 | もらえると思わない(または、もらえなかった) | |
| 3 | わからない | |

【問40で「1」(もらえると思う、またはもらっている)と回答した方に】

問40-1 それはどのような種類ですか。(〇はいくつでも)

- | | | | | | |
|---|----------------|---|---------|---|-----|
| 1 | 居住用の不動産(一戸建て) | 3 | その他の不動産 | 5 | その他 |
| 2 | 居住用の不動産(マンション) | 4 | 金融資産 | | |

問40-2 また、その時価総額はいくら位になると思いますか。(実数記入)

-	千	百	十	-
億				万円くらい

あなたとご家族のことについてお伺いします。

【全員の方に】

F 1 世帯主の方の性別についてお伺いします。(○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

③⑥

F 2 世帯主の方のお生まれの年月をご記入ください。(実数記入)

※29 ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

西暦

--	--	--	--

 年

--	--

 月

③①～③⑥

F 3 世帯主の方のご健康状態は、いかがでしょうか。(○は1つ)

1 健康である	3 あまり健康でない
2 まあ健康である	4 健康でない

③⑦

F 4 あなたの世帯では、以下の資産をお持ちですか(世帯主・配偶者のみでなく、生計を共にされている方全てがお持ちのものを含みます)。

- (1) お持ちの資産の種類をお知らせください。1～4のうち当てはまるものをすべてお知らせください。
 (2) お持ちのものそれぞれについて、その現在の評価額(時価評価額)をお知らせください(事業用部分は除く)。

資産別の額が分からなくても、合計額のみご記入可能な方は、その額をお知らせください。(実数記入)

※回答可能な範囲でお答えいただければ結構です。正確な金額が分からないものは、推計額で結構です。

	(1) 世帯でお持ちの資産(○はいくつでも)	(2) 時価評価額											
		+	-	千	百	+	- (位)						
現在居住している土地	1	→	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 億			<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 万円							
現在居住している建物	2	→	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 億			<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 万円							
その他の土地および建物(別荘、通勤用住宅、投資用マンション等)	3	→	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 億			<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 万円							
その他(ゴルフ会員権、貴金属、書画、骨董等)	4	→	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 億			<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 万円							
合 計		→	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 億			<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 万円							

③⑧

③⑨～□

【全員の方に】

F 5 あなたの世帯が昨年1年間に支払った所得税・住民税・社会保険料がありましたか。ある場合は「1 ある」に○を付け、その金額を記入してください。なかった場合は「2 なし」に○を付け、「0」と記入してください。

(実数記入)

	1 ある	2 なし	支払額							
			千	百	+	-				
① 所得税・住民税	○	○	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 万円							
② 社会保険料	○	○	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table> 万円							

□□

□～□

F 6 世帯主の方の最終学歴はどれにあたりますか。(○は1つ)

1 中学校 (旧制小・高等小)	4 短大・高等専門学校	7 その他 (具体的に)	□
2 高等学校 (旧制中・旧制高女)	5 大学・大学院 (文系)	8 わからない	
3 専修学校・各種学校	6 大学・大学院 (理系)		

F 7 あなた (このアンケートをご記入くださっている方) は、どなたですか。(○は1つ)

1 世帯主ご本人	6 世帯主の親、世帯主の配偶者の親	□
2 世帯主の配偶者	7 世帯主の祖父、または祖母	
3 世帯主の子ども	8 世帯主の兄弟・姉妹	
4 世帯主の子どもの配偶者	9 その他 (具体的に)	
5 世帯主の孫		

⑩-8

F 8 世帯主の方のお子さまは何人いらっしゃいますか。(実数記入)

人 (別居されている方も含みます。) ⑪⑫

F 9 現在、同居のご家族の方は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。ひとり暮らしの方は、「1」とご記入ください。(実数記入)

人 (別居されている方は除きます。) ⑬⑭

F 10 現在、あなたが同居しているご家族の方々は、どなたですか。あなたご自身を含め、あてはまる方すべてに○を付け、それぞれ人数もご記入ください。(○はいくつでも)

1 世帯主	6 世帯主の親、世帯主の配偶者の親()人	⑮
2 世帯主の配偶者	7 世帯主の祖父、または祖母()人	
3 世帯主の子ども()人	8 世帯主の兄弟・姉妹()人	
4 世帯主の子どもの配偶者()人	9 その他	
5 世帯主の孫()人	(具体的な関係) ()人	

⑯~⑳ ㉒~㉓

➤【F10で、「3 世帯主の子ども」に○を付けた方のみ】

F 10-1 一番下のお子様の年齢をお知らせください。(実数記入) 歳 ㉔㉕

➤【F10で、「5 世帯主の孫」に○を付けた方のみ】

F 10-2 一番下のお孫様の年齢をお知らせください。(実数記入) 歳 ㉖㉗

【全員の方に】

F 11 生計をともにしている別居中のご家族がいらっしゃいますか。(○は1つ)

1 いる	2 いない	⑳
------	-------	---

F 1 2 新型コロナウイルス感染症に関連して、世帯主の方の家族形態や住居に変化がありましたか。
次の(1)、(2)それぞれについてお答えください。

(1) 家族形態について (〇はいくつでも)

1 夫婦関係が悪化し離婚、離婚協議、または別居となった 2 家族の重要性を意識して結婚した、または結婚を決めた 3 親子関係が悪化し子や親と別居した 4 家族の重要性を意識して子や親と同居した 5 その他 (具体的に) 6 上記いずれの変化も起きなかった	③①
---	----

(2) 住居について (〇はいくつでも)

1 都市部から郊外や田舎に移住した、または移住を計画している 2 住宅ローンを払えないためマイホームを手放した 3 その他 (具体的に) 4 上記いずれの変化も起きなかった	③②
--	----

F 1 3 世帯主の配偶者の方のお生まれの年月をご記入ください。(実数記入)

※世帯主の配偶者がいらっしゃらない場合は、「X 世帯主に配偶者はいない」に〇を付けて、次ページのF 1 6へお進みください。

※29ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

西暦

--	--	--	--

 年

--	--

 月

③③~③⑧

X 世帯主に配偶者はいない →次ページのF 1 6へ

【世帯主に配偶者がいらっしゃる方に】

F 1 4 世帯主の配偶者の方のご健康状態は、いかがでしょうか。(〇は1つ)

1 健康である	3 あまり健康でない
2 まあ健康である	4 健康でない

③⑨

F 1 5 世帯主の配偶者の方の最終学歴はどれにあたりますか。(〇は1つ)

1 中学校 (旧制小・高等小)	4 短大・高等専門学校	7 その他 (具体的に)
2 高等学校 (旧制中・旧制高女)	5 大学・大学院 (文系)	
3 専修学校・各種学校	6 大学・大学院 (理系)	8 わからない

□

【全員の方に】

F16 世帯主の方、または世帯主の配偶者の親御様についてお伺いします。

※世帯主の配偶者がいらっしゃらない場合は、世帯主の親御様についてのみお答えください。

- (1) 現在、どのようにお住まいですか。(〇はそれぞれ1つ)
- (2) 親御様の中に、介護が必要な方はいらっしゃいますか。(〇はそれぞれ1つ)

【F16(2)で、「2」(介護を必要とする)とお答えの方について】

- (3) 介護が必要な親御様がいらっしゃる場合、主な介護者はどなたですか。(〇はそれぞれ1つ)
- (4) 介護のために、あなたの世帯が負担されている費用は月々いくらくらいですか。(〇はそれぞれ1つ)

	世帯主のご両親		[世帯主に配偶者のいる方に] 配偶者のご両親	
	母親	父親	母親	父親
(1) あなたの同別居状態 (〇はそれぞれ1つずつ)	1 同居中 2 別居中 (同じ市町村) 3 別居中(他の地域) 4 母親はいない	1 同居中 2 別居中 (同じ市町村) 3 別居中(他の地域) 4 父親はいない	1 同居中 2 別居中 (同じ市町村) 3 別居中(他の地域) 4 母親はいない	1 同居中 2 別居中 (同じ市町村) 3 別居中(他の地域) 4 父親はいない
(2) 介護の必要有無 (〇はそれぞれ1つずつ)	1 必要としない 2 必要とする	1 必要としない 2 必要とする	1 必要としない 2 必要とする	1 必要としない 2 必要とする
(3) 主に介護している方 (〇はそれぞれ1つずつ)	1 世帯主 2 世帯主の配偶者 3 世帯主の父親 4 その他の親族 5 介護老人福祉施設(特養) 6 介護保健施設(老健) 7 療養型病床 8 有料老人ホーム 9 病院 10 その他	1 世帯主 2 世帯主の配偶者 3 世帯主の母親 4 その他の親族 5 介護老人福祉施設(特養) 6 介護保健施設(老健) 7 療養型病床 8 有料老人ホーム 9 病院 10 その他	1 世帯主 2 世帯主の配偶者 3 配偶者の父親 4 その他の親族 5 介護老人福祉施設(特養) 6 介護保健施設(老健) 7 療養型病床 8 有料老人ホーム 9 病院 10 その他	1 世帯主 2 世帯主の配偶者 3 配偶者の母親 4 その他の親族 5 介護老人福祉施設(特養) 6 介護保健施設(老健) 7 療養型病床 8 有料老人ホーム 9 病院 10 その他
(4) 介護費用の負担額 (〇はそれぞれ1つずつ)	1 3万円未満 2 3～5万円未満 3 5～7万円未満 4 7～10万円未満 5 10～15万円未満 6 15万円以上 7 わからない 8 費用負担はない	1 3万円未満 2 3～5万円未満 3 5～7万円未満 4 7～10万円未満 5 10～15万円未満 6 15万円以上 7 わからない 8 費用負担はない	1 3万円未満 2 3～5万円未満 3 5～7万円未満 4 7～10万円未満 5 10～15万円未満 6 15万円以上 7 わからない 8 費用負担はない	1 3万円未満 2 3～5万円未満 3 5～7万円未満 4 7～10万円未満 5 10～15万円未満 6 15万円以上 7 わからない 8 費用負担はない

④①～④④

④⑤～④⑧

□～□

□～□

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

西曆・元号对比表

西曆	元号
1920年	大正 9年
1921年	大正 10年
1922年	大正 11年
1923年	大正 12年
1924年	大正 13年
1925年	大正 14年
1926年	大正 15年 昭和 元年
1927年	昭和 2年
1928年	昭和 3年
1929年	昭和 4年
1930年	昭和 5年
1931年	昭和 6年
1932年	昭和 7年
1933年	昭和 8年
1934年	昭和 9年
1935年	昭和 10年
1936年	昭和 11年
1937年	昭和 12年
1938年	昭和 13年
1939年	昭和 14年
1940年	昭和 15年
1941年	昭和 16年
1942年	昭和 17年
1943年	昭和 18年
1944年	昭和 19年
1945年	昭和 20年

西曆	元号
1946年	昭和 21年
1947年	昭和 22年
1948年	昭和 23年
1949年	昭和 24年
1950年	昭和 25年
1951年	昭和 26年
1952年	昭和 27年
1953年	昭和 28年
1954年	昭和 29年
1955年	昭和 30年
1956年	昭和 31年
1957年	昭和 32年
1958年	昭和 33年
1959年	昭和 34年
1960年	昭和 35年
1961年	昭和 36年
1962年	昭和 37年
1963年	昭和 38年
1964年	昭和 39年
1965年	昭和 40年
1966年	昭和 41年
1967年	昭和 42年
1968年	昭和 43年
1969年	昭和 44年
1970年	昭和 45年
1971年	昭和 46年

西曆	元号
1972年	昭和 47年
1973年	昭和 48年
1974年	昭和 49年
1975年	昭和 50年
1976年	昭和 51年
1977年	昭和 52年
1978年	昭和 53年
1979年	昭和 54年
1980年	昭和 55年
1981年	昭和 56年
1982年	昭和 57年
1983年	昭和 58年
1984年	昭和 59年
1985年	昭和 60年
1986年	昭和 61年
1987年	昭和 62年
1988年	昭和 63年
1989年	昭和 64年 平成 元年
1990年	平成 2年
1991年	平成 3年
1992年	平成 4年
1993年	平成 5年
1994年	平成 6年
1995年	平成 7年
1996年	平成 8年
1997年	平成 9年

西曆	元号
1998年	平成 10年
1999年	平成 11年
2000年	平成 12年
2001年	平成 13年
2002年	平成 14年
2003年	平成 15年
2004年	平成 16年
2005年	平成 17年
2006年	平成 18年
2007年	平成 19年
2008年	平成 20年
2009年	平成 21年
2010年	平成 22年
2011年	平成 23年
2012年	平成 24年
2013年	平成 25年
2014年	平成 26年
2015年	平成 27年
2016年	平成 28年
2017年	平成 29年
2018年	平成 30年
2019年	平成 31年 令和 元年
2020年	令和 2年
2021年	令和 3年
2022年	令和 4年

業種分類表

1 農林漁鉱業	農業、林業、漁業、水産養殖業、鉱業、採石業、砂利採取業
2 建設業	総合工事業、一般土木建築工事業、土木工事業、舗装工事業、建築工事業、木造建築工事業、建築リフォーム工事業、大工工事業、とび・土木・コンクリート工事業、鉄骨・鉄筋工事業、石工・れんが・タイル・ブロック工事業、左官工事業、板金・金物工事業、塗装工事業、床・内装工事業、その他の職別工事業、電気工事業、電気通信・信号装置工事業、管工事業、機械器具設置工事業、その他の設備工事業
3 製造業	食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、なめし革・同製品・毛皮製造業、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、その他の製造業
4 運輸業、郵便業	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、郵便業
5 卸売業、小売業	各種商品卸売業、繊維・衣服等卸売業、飲食料品卸売業、建築材料・鉱物・金属材料等卸売業、機械器具卸売業、その他の卸売業、各種商品小売業、織物・衣服・身の回り品小売業、飲食料品小売業、機械器具小売業、その他の小売業、無店舗小売業
6 宿泊業、飲食サービス業	宿泊業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業
7 医療、福祉	医療業、保険衛生、社会保険・社会福祉・介護事業
8 公務、教育、電気水道業	国家公務（他に分類されないもの）、地方公務（他に分類されないもの）、学校教育、その他の教育、学習支援業、電気業、ガス業、熱供給業、水道業
9 その他サービス業	情報通信業（通信業、放送業、情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業）、金融・保険業（銀行業、協同組織金融業、貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関、金融商品取引業、商品先物取引業、補助的金融業等、保険業＜保険媒介代理業、保険サービス業を含む＞）、不動産業、物品賃貸業（不動産取引業、不動産賃貸業・管理業、物品賃貸業）、複合サービス事業（郵便局、協同組合＜他に分類されないもの＞）、学術研究、専門・技術サービス業（学術・開発研究機関、専門サービス業＜他に分類されないもの＞、広告業、技術サービス業＜他に分類されないもの＞）、生活関連サービス業、娯楽業（洗濯・理容・美容・浴場業、その他の生活関連サービス業、娯楽業）、サービス業（他に分類されないもの＜廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、職業紹介・労働者派遣業、その他の事業サービス業、政治・経済・文化団体、宗教、その他のサービス業、外国公務＞）、分類不能の産業

銀行一覧

都市銀行	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行
地方銀行 (北から南の順)	北海道銀行、青森銀行、みちのく銀行、秋田銀行、北都銀行、荘内銀行、山形銀行、岩手銀行、東北銀行、七十七銀行、東邦銀行、群馬銀行、足利銀行、常陽銀行、筑波銀行、武蔵野銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、きらぼし銀行、横浜銀行、第四北越銀行、山梨中央銀行、八十二銀行、北陸銀行、富山銀行、北國銀行、福井銀行、静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、大垣共立銀行、十六銀行、三十三銀行、百五銀行、滋賀銀行、京都銀行、関西みらい銀行、池田泉州銀行、南都銀行、紀陽銀行、但馬銀行、鳥取銀行、山陰合同銀行、中国銀行、広島銀行、山口銀行、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、北九州銀行、筑邦銀行、佐賀銀行、十八親和銀行、肥後銀行、大分銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行、琉球銀行、沖縄銀行
第二地方銀行 (北から南の順)	北洋銀行、きらやか銀行、北日本銀行、仙台銀行、福島銀行、大東銀行、東和銀行、栃木銀行、京葉銀行、東日本銀行、東京スター銀行、神奈川銀行、大光銀行、長野銀行、富山第一銀行、福邦銀行、静岡中央銀行、愛知銀行、名古屋銀行、中京銀行、みなと銀行、島根銀行、トマト銀行、もみじ銀行、西京銀行、徳島大正銀行、香川銀行、愛媛銀行、高知銀行、福岡中央銀行、佐賀共栄銀行、長崎銀行、熊本銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行
信託銀行	三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、野村信託銀行、ニューヨークメロン信託銀行、日本マスタートラスト信託銀行、オリックス銀行、ステート・ストリート信託銀行、SMBC信託銀行、農中信託銀行、新生信託銀行、日証金信託銀行、日本カストディ銀行
ネット銀行	PayPay銀行、ソニー銀行、楽天銀行、住信SBIネット銀行、GMOあおぞらネット銀行、auじぶん銀行、大和ネクスト銀行、イオン銀行、ローソン銀行、セブン銀行、みんなの銀行、UI銀行
その他	あおぞら銀行、新生銀行、埼玉りそな銀行、ゆうちょ銀行